

第54回(2020年)
仏教伝道文化賞推薦についてのお願い



公益財団法人 仏教伝道協会

仏教伝道文化賞選定委員会要綱

1. 本会は、仏教伝道文化賞選定委員会という。
2. 本会は、事務所を仏教伝道協会内に置く。
3. 本会は、公益財団法人仏教伝道協会の事業として、仏教精神、仏教文化ならびに仏教学術の興隆等に貢献のあった人を毎年選定し、所定の記念品および賞金を贈呈する。
4. 受賞者は推薦状に基づいて調査検討し、次に該当するものの中より選定する。
研究・論文・著述・翻訳・踏査・出版・文芸・美術・音楽・評論・伝道者・実践者・その他
「仏教伝道文化賞」
長年に亘って仏教伝道文化に貢献のあった方または団体
「仏教伝道文化賞 沼田奨励賞」
今後の仏教伝道を通じた文化活動の振興が、大いに期待できる方または団体
5. 受賞者の選定方法は、毎年国内外の各仏教宗派、宗務所、大学等の教育・研究機関、仏教団体、報道機関、専門家、研究者等に推薦依頼状を発送してデータを集め、外部有識者と専門家からなる選定委員会の公正な審議・銓衡の上決定する。
6. 仏教伝道文化賞受賞者の賞金は500万円とする。
仏教伝道文化賞 沼田奨励賞の賞金は300万円とする。ただし、受賞者が2名になる場合は150万円ずつとする。
7. 贈呈式は、公益財団法人仏教伝道協会が主催してこれを行う。
8. 本会の経費は、公益財団法人仏教伝道協会が負担する。
9. 選定に関しては、委員会がこれを自主的に行う。
10. 選定に関する資料の収集・推薦依頼状の印刷、発送、整理、その他の事務は、公益財団法人仏教伝道協会がこれにあたる。

仏教伝道文化賞選定委員会

委員長	大久保	良	峻	
委員	桂	紹	隆	
委員	菅	原	伸	郎
委員	宮	治	昭	
委員	逸	見	道	郎
委員	浅	井	靖	子
委員	形	山	俊	彦

仏教伝道文化賞・功労賞

仏教伝道文化賞

A項 研究・論文・著述・翻訳・踏査・出版・その他

B項 文芸・美術・音楽・評論・その他

C項 伝道者・実践者・その他

仏教伝道功労賞

長年に亘って仏教伝道に尽力された長老



第1回 文化賞 昭和42年

A項 岩野 真雄 氏

1892年東京生まれ。長年にわたり『国訳一切経』を始め經典の和訳・出版事業に献身。



B項 紀野 一義 氏

1922年山口県生まれ。わかり易い仏教啓蒙書を多く著わし、仏教の現代化に貢献。



第2回 文化賞 昭和43年

B項 北川 桃雄 氏

1899年東京生まれ。著作を通じて日本の古都・秘仏等仏教美術を、内外に紹介。



C項 網脇 龍妙 氏

1876年福岡県生まれ。ハンセン病患者救済事業の先覚者。法華経「常不軽品」の人間礼拝を実践。



第3回 文化賞 昭和44年

A項 梅原 猛 氏

1925年仙台生まれ。哲学者として仏教思想研究に専念。仏教の啓蒙に新風。



C項 常光 浩然 氏

1891年広島県生まれ。全一仏教運動に献身。戦後、仏教新聞を創刊する等実践の人。



第4回 文化賞 昭和45年

A項 平川 彰 氏

1915年愛知県生まれ。『初期大乘仏教の研究』等で、世界的な研究成果をおさめる。



B項 丹羽 文雄 氏

1904年三重県生まれ。作家として『親鸞』著作の功績ほか仏教文学の高揚を称えて。



第5回 文化賞 昭和46年

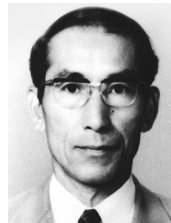
B項 大内 青圃 氏

1898年東京生まれ。わが国彫塑界の高峰。仏像制作に独自の境地を開拓した。



C項 久保瀬 曉明 氏

1905年サンフランシスコ生まれ。米国の東本願寺二世開教使として当地開教の第一線に立つ。



第6回 文化賞 昭和47年

A項 藤田 宏達 氏

1928年北海道生まれ。原始浄土思想という未開拓の分野で先駆的業績をあげる。



C項 小野清一郎 氏

1891年岩手県生まれ。わが国法曹界の最高権威であるとともに熱烈な親鸞信者。



第7回 文化賞 昭和48年

A 項 友松 圓諦 氏

1895年名古屋生まれ。昭和初期、大衆啓蒙運動をすすめ、その後も真理運動を推進。



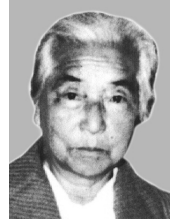
功労賞 大西 良慶 氏

1875年奈良県生まれ。清水寺貫主。社会福祉事業、伝道教化、日中仏教交流等に活躍。



B 項 中山 玄雄 氏

1902年滋賀県生まれ。天台声明の大家。出演・発表、後進の指導、著作等に功績大。



功労賞 松浦しのぶ 氏

1896年福井県生まれ。北米開教使夫人として内助の功。「心の母」として慕われる。



功労賞 野生司香雪 氏

1884年香川県生まれ。釈尊を題材とする仏教画制作に生涯をささげた。



第10回 文化賞 昭和51年

A 項 玉城康四郎 氏

1915年熊本県生まれ。卓越した比較哲学の能力と文献考証により、仏教思想を追求。



第8回 文化賞 昭和49年

B 項 武田 泰淳 氏

1912年東京生まれ。作家、宗教者として絶望的な人間の現実を直視し叡智を探求。



B 項 黛 敏郎 氏

1929年横浜生まれ。幽玄な鐘の音や仏教の声明を主題に、一連の仏教音楽を創作。



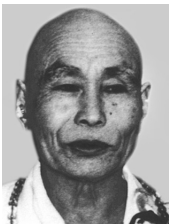
C 項 常盤 勝憲 氏

1930年大阪生まれ。壺坂寺住職として盲人の福祉に献身。ハンセン病患者救済運動にも活躍。



功労賞 山口 益 氏

1895年京都生まれ。すぐれた学術論文を発表。『仏教聖典』の編集・出版に対して。



功労賞 藤井 日達 氏

1885年熊本県生まれ。日本山妙法寺サンガの指導者。非暴力平和運動の実践につくす。



功労賞 清水谷恭順 氏

1891年群馬県生まれ。浅草寺の貫主として、実践布教。学者として密教学研究の権威。



第9回 文化賞 昭和50年

A 項 中村 元 氏

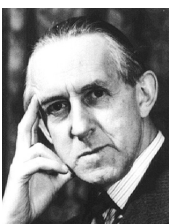
1912年島根県生まれ。わが国仏教学界の最高権威。『仏教語大辞典』編纂の功績をたたえて。



第11回 文化賞 昭和52年

B 項 平山 郁夫 氏

1930年広島県生まれ。日本画家。シルクロード等仏跡を題材に多くの作品を発表。



C 項 クリスマス・ハンフレイズ 氏

1901年ロンドン生まれ。ロンドン仏教会長として、仏教の世界的伝道に活躍した。



C 項 山田 無文 氏

1900年愛知県生まれ。花園大学学長として学生指導、著作・講演等を通じて実践布教。



功労賞 土岐 善麿 氏
1885年東京生まれ。歌人として有名。仏教史上の人物を題材に新作「能」を発表。



第14回 文化賞 昭和55年
B 項 井上 靖 氏
1907年北海道生まれ。作家。『天平の薨』『敦煌』等は仏教にかかわる感動的な作品。



第12回 文化賞 昭和53年
A 項 中村 瑞隆 氏
1915年青森県生まれ。インド・チベットにおける仏跡踏査、カピラ城跡の発掘研究。



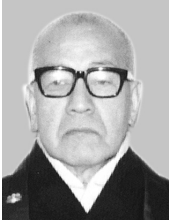
C 項 関 法善 氏
1903年鹿児島県生まれ。四半世紀におよぶ米国開教は多彩。米国仏教アカデミーを創設。



C 項 加藤辨三郎 氏
1899年島根県生まれ。実業界にあって「在家仏教運動」に献身。仏教の外護者。



功労賞 那須 政隆 氏
1894年愛知県生まれ。密教教学の第一人者。また「真言行者」として布教伝道に献身。



功労賞 樽林 皓堂 氏
1893年静岡県生まれ。駒沢大学総長として教育面での業績と曹洞禅研究の学術面の功労。



第15回 文化賞 昭和56年
A 項 鎌田 茂雄 氏
1927年神奈川県生まれ。現代における華嚴教学の第一人者。仏教的故地の踏査研究。



第13回 文化賞 昭和54年
A 項 長尾 雅人 氏
1907年広島県生まれ。『大乘仏典』その他の監修・編纂。中央アジア学術調査。



C 項 清水 公照 氏
1911年兵庫県生まれ。東大寺管長としての大仏殿昭和大修理の偉業を称えて。



B 項 土門 拳 氏
1909年山形県生まれ。写真家として映像を通し日本仏教美術の普及に特異な功績。



功労賞 水野 弘元 氏
1901年佐賀県生まれ。パリ仏教学を代表する碩学。『パリ語辞典』など著作多数。



功労賞 竹村吉右衛門 氏
1900年秋田県生まれ。教育面、仏教外護活動、仏教振興財団の理事長等各方面で活躍。



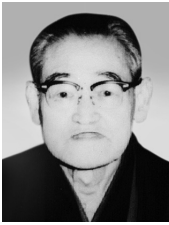
第16回 文化賞 昭和57年
A 項 高崎 直道 氏
1926年東京生まれ。重要な教義である如来蔵思想の研究にすぐれた成果。



功労賞 玉井 好孝 氏
1900年富山県生まれ。開教使として「いま良寛」と慕われ、長く米国で活躍。



B 項 中村 素道 氏
1901年静岡県生まれ。作品の8割以上は仏教語からなり書道界の指導者として活躍。



功労賞 花山 信勝 氏
1898年石川県生まれ。極東軍事裁判における教誨師。仏教東漸に献身。



功労賞 西谷 啓治 氏
1900年石川県生まれ。宗教哲学の権威。仏教哲学の価値を明らかにした功績。



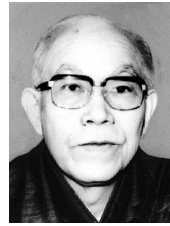
功労賞 趙 樸初 氏
1907年中国安徽省生まれ。中国仏教界復興に尽力。さらに日中仏教交流に多大な貢献。



功労賞 平 喜久男 氏
1911年カリフォルニア生まれ。米国加州で医師業のかたわら仏教伝道と社会奉仕に活躍。



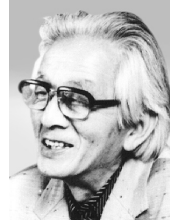
第17回 文化賞 昭和58年
B 項 西村 公朝 氏
1915年大阪府生まれ。長く仏像修理に活躍。仏像の研究・保存、後継者育成に尽力。



第19回 文化賞 昭和60年
A 項 石田 瑞麿 氏
1917年北海道生まれ。日本仏教における戒律思想等の着実綿密な研究に功績。



C 項 (財)国際仏教興隆協会 殿
代表者 巖谷 勝雄 氏
インド・ブッダガヤに日本寺を建設し、福祉活動に貢献。



B 項 入江 泰吉 氏
1905年奈良県生まれ。大和路の古寺風物を活写し、仏教文化を世に伝える。



功労賞 青木 融光 氏
1891年東京生まれ。新義派豊山声明の伝承者として、内外に仏教音楽を知らしめた。



功労賞 山田 恵諦 氏
1895年兵庫県生まれ。天台座主として大衆教化に尽力。比叡山を教化の場に。



功労賞 ジュニアス・
R・ジャヤワルダナ 氏
1906年スリランカ・コロombo生まれ。スリランカ大統領であり、信心深い仏教徒。



功労賞 趙 明基 氏
1905年韓国・慶尚南道生まれ。長年にわたる韓国仏教研究と日韓仏教学術交流の功。



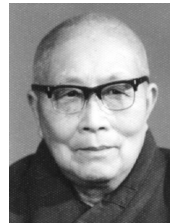
第18回 文化賞 昭和59年
A 項 横超 慧日 氏
1906年愛知県生まれ。中国仏教の研究において新境地を開拓した業績。



第20回 文化賞 昭和61年
B 項 花岡 大学 氏
1909年奈良県生まれ。仏典童話の開拓に努め、広範な読者に仏教精神を弘める。



C 項 藤本 幸邦 氏
1910年長野県生まれ。「一寺院一孤児の収容」を提唱し、福祉と布教活動に尽力。



C 項 隆 蓮 氏
1909年中国四川省生まれ。顕密兼通の尼僧で中国仏教の興隆に尽くす。



功労賞 西 義雄 氏
1897年兵庫県生まれ。東洋大学教授として難解な阿毘達磨仏教の研究に精進。



功労賞 道端 良秀 氏
1903年北海道生まれ。中国仏教史研究の第一人者。日中仏教の友好と交流のため尽力。



功労賞 祖父江省念 氏
1908年岐阜県生まれ。長く節談説教に励み、その保存と大衆伝道に尽力。



功労賞 伊藤 完夫 氏
1906年愛知県生まれ。純正調オルガン奏者並びに仏教音楽の作曲家として、音楽による伝道に精進。



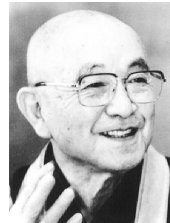
第21回 文化賞 昭和62年
A 項 トレバー・レゲット 氏
1914年ロンドン生まれ。英国で日本文化と禅思想を研究、翻訳し、広く紹介。



第23回 文化賞 平成元年
B 項 前田 常作 氏
1926年富山県生まれ。マンダラの世界と精神を描き、新しい仏教美術を開拓。



C 項 大須賀発蔵 氏
1923年長野県生まれ。仏教精神に基づいた会社経営と人間関係研究所の設立。



C 項 松原 泰道 氏
1907年東京生まれ。南無の会会長として超宗派の大衆伝道を推進。



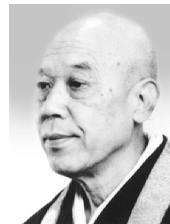
功労賞 片山 日幹 氏
1899年兵庫県生まれ。重須本門寺の復興と日蓮宗護法運動の展開に尽力。



功労賞 小林與三次 氏
1913年富山県生まれ。日本テレビ「宗教の時間」を継続、信仰心の育成に貢献。



功労賞 西村七兵衛 氏
1907年京都府生まれ。先祖伝来の仏教書出版業を継ぎ、多くの良書を刊行。



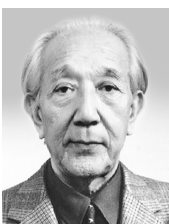
功労賞 誉田 玄昭 氏
1915年兵庫県生まれ。天台声明の第一人者で、その伝承と後継者の育成に尽力。



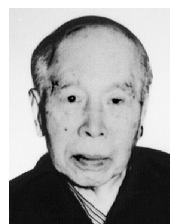
第22回 文化賞 昭和63年
A 項 勝又 俊教 氏
1909年新潟県生まれ。唯識思想及び密教学の権威。真言宗豊山派管長として学問・伝道の両面で活躍。



第24回 文化賞 平成2年
A 項 稲田 亀男
ケネス 氏
1923年ハワイ生まれ。米国の仏教学者で仏教の国際化と良書の刊行に努める。



B 項 守屋多々志 氏
1912年岐阜県生まれ。日本画の手法を用い、数多くの優れた仏教画の制作や寺院の荘厳に専心努力。



C 項 米沢 英雄 氏
1909年福井県生まれ。開業医という在家の立場で、著述、講演による伝道に尽力。



功劳賞 干潟 龍祥 氏
1892年福井県生まれ。ジャー
タカ研究と梵文善勇猛般若經
校訂で学界に貢献。



C 項 高 史明 氏
1932年山口県生まれ。小説家
で親鸞聖人の教えを支えとし
て多くの青少年に生きる糧を
与える。



**功劳賞 サンヤ・
ダルマサクティ 氏**
1907年バンコック生まれ。世
界仏教徒連盟会長として仏教
の国際興隆に寄与する。



第28回 文化賞 平成6年
A 項 牧田 諦亮 氏
1912年滋賀県生まれ。中国近
世仏教史研究、疑經研究等で
多くの学問的業績をあげる。



第25回 文化賞 平成3年
A 項 武内 義範 氏
1913年三重県生まれ。親鸞思
想の宗教哲学的研究と、西洋
への仏教思想の紹介。



B 項 榎本 栄一 氏
1903年兵庫県生まれ。平明で
ありながら仏教の真髓を伝え
る詩を60歳を過ぎて30年間
作り続ける。



B 項 坂村 真民 氏
1909年熊本県生まれ。仏教の
精神を生活に即した詩として
作り、人びとに心の支えを与
えた功績。



第29回 文化賞 平成7年
B 項 飯田 利行 氏
1911年群馬県生まれ。音韻学
の大家で、良寛、漱石、子規、
耶律楚材の功績を広く世に紹
介。



功劳賞 佐藤 密雄 氏
1901年富山県生まれ。戒律の
研究を通し、原始仏教教団の
様相を明らかにする。



功劳賞 酒井 雄哉 氏
1926年大阪生まれ。比叡山千
日回峯行を二度にわたり満行
し、世の多くの人びとに宗教
的感銘を与える。



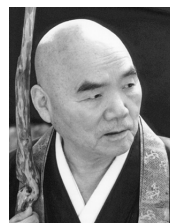
第26回 文化賞 平成4年
B 項 錦戸 新観 氏
1908年茨城県生まれ。40年以
上にわたり信仰の対象として
の仏像を数多く彫刻。



第30回 文化賞 平成8年
A 項 宮坂 宥勝 氏
1921年長野県生まれ。仏教学、
密教学の研究を深め、講演、
著述により多くの人びとの仏
教理解に尽力。



功劳賞 土井 正治 氏
1894年兵庫県生まれ。仏教学
術振興会会長として大蔵經索
引刊行を支援。



功劳賞 佐々木承周 氏
1907年宮城県生まれ。単身渡
米し、永年にわたり禅をアメ
リカ人に伝え門弟を育てた功
績。



第27回 文化賞 平成5年
A 項 柳田 聖山 氏
1922年滋賀県生まれ。中国初
期禅宗史研究の権威で、多く
の禅語録を翻訳紹介。



第31回 文化賞 平成9年
A 項 水野弥穂子 氏
1921年東京生まれ。道元禪師
の難解な著述を綿密校注、現
代語訳した功績。



第32回 文化賞 平成10年

B 項 ゲーリー・スナイダー 氏
1930年サンフランシスコ生まれ。禅と自然を詩に詠み、欧米人に伝えた功績による。

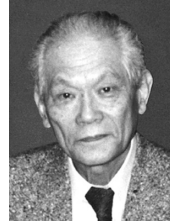


功労賞 佐藤 秀雄 氏

1907年広島県生まれ。大乘仏教の文化の伝承と普及に努め、多くの人びとに仏教のこころを伝える。



C 項 井上 信一 氏
1918年熊本県生まれ。在家仏教者として、また経済人として仏教を実践した功績。



第37回 文化賞 平成15年

A 項 上田 閑照 氏

1926年東京生まれ。仏教思想をドイツ神秘思想、宗教、哲学などを背景に研究し、東西文化交流に尽力。



第33回 文化賞 平成11年

A 項 楠 恭 氏
1915年富山県生まれ。妙好人の意味と位置づけを明らかにし、日常生活に生きている仏教の姿を紹介。



B 項 横道萬里雄 氏

1916年東京生まれ。仏教音楽の世界的な研究者で、音楽と法要の構造を有機的に結び付け、仏教音楽を理解できるようにした功績。



C 項 アルフレッド・ブルーム 氏
1926年フィラデルフィア生まれ。親鸞思想を中心に、東西の架け橋の役割を果たす。



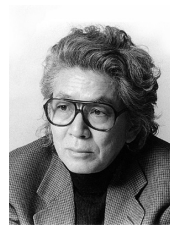
功労賞 吉田 久一 氏

1915年新潟県生まれ。明治以降の近代仏教史を研究するとともに、仏教が社会福祉に果たした役割と歴史を講じた功労。



第34回 文化賞 平成12年

A 項 雲井 昭善 氏
1915年大阪府生まれ。原始仏典研究の道を歩み『パーリ語仏教辞典』を完成・出版。後進の研究に大きく貢献。



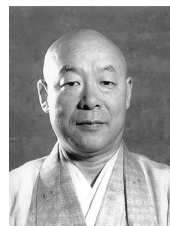
第38回 文化賞 平成16年

B 項 五木 寛之 氏

1932年福岡県生まれ。著作、テレビ、講演などを通して多くの人びとを仏教の世界にいざなった。



功労賞 阿部 正雄 氏
1915年大阪生まれ。多くの英文著書を出版、長年に亘り欧米神学との対話を通じて仏教思想を伝えた功績による。



C 項 嶋野 榮道 氏

1932年東京生まれ。米国ニューヨークで大菩薩禅堂を建立し、アメリカの人びとに禅を教え弘めた功績。



第35回 文化賞 平成13年

C 項 竹下 哲 氏
1923年長崎県生まれ。テレビ、講話、雑誌寄稿、著書等で仏教を平易な言葉で多くの人びとに伝えた。



第39回 文化賞 平成17年

A 項 ランベルト・

シュミットハウゼン 氏
1939年ドイツ・ケルン生まれ。諸言語に通じ、阿頼耶識、仏教と自然等に関する研究成果をあげる。



第36回 文化賞 平成14年

A 項 田村 圓澄 氏
1917年奈良県生まれ。浄土思想の展開、法然上人伝の研究、日韓仏教関係史等の研究・著作で国際貢献。



C 項 野田 風雪 氏

1921年愛知県生まれ。長年青少年問題に関わり、退職後は一般市民に仏教をやさしく語り続ける。



功労賞 前田 恵學 氏
1926年名古屋生まれ。原始仏教の文献学的、歴史学的研究で成果をあげ、パーリ仏教文化の学際的研究を進める。



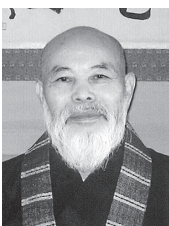
第40回 文化賞 平成18年
A 項 海野 大徹 氏
1929年北九州生まれ。比較宗教の立場から浄土思想を研究し、海外での若手仏教者を育成した功績。



功労賞 青山 俊董 氏
1933年愛知県生まれ。尼僧を指導し、著作・講演で多くの女性に仏法への縁を結ばせる。



第41回 文化賞 平成19年
B 項 江里 康慧 氏
佐代子 氏
康慧氏（1943年京都生まれ）の造形した仏像に佐代子氏（1945年京都府生まれ）が金箔を貼るという共同作業で、多くの作品を制作し、仏教美術の興隆に尽力する。



C 項 林 暁宇 氏
1923年北海道生まれ。仏教伝統の乞食精神で生活し、多くの人達に仏法による生き方を示す。



第42回 文化賞 平成20年
A 項 バーバラ・ルーシュ 氏
1932年フィラデルフィア生まれ。前人未踏の門跡尼寺文化の発掘、調査、研究、普及に努める。



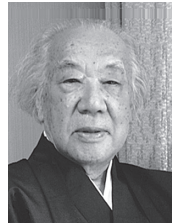
C 項 野田 大燈 氏
1946年香川県生まれ。不登校の青年相手の道場を設立し、仏教による人間回復に努める。



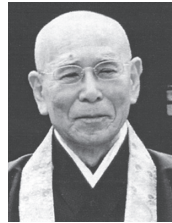
第43回 文化賞 平成21年
A 項 奈良 康明 氏
1929年千葉県生まれ。インド宗教文化史の研究で学術振興に寄与する。



功労賞 稲垣 久雄 氏
1929年神戸生まれ。仏典の英訳、『日英仏教語辞典』の刊行で仏教の国際化に尽くす。



第44回 文化賞 平成22年
B 項 佐久間 頭一 氏
1921年京都府生まれ。絵画「合掌童子」などを描き続け、多くの人に仏心を伝える。



功労賞 飛鳥 寛栗 氏
1915年富山県生まれ。長年にわたり仏教音楽の研究、向上、普及に尽力する。



第45回 文化賞 平成23年
A 項 信楽 峻磨 氏
1926年広島県生まれ。浄土教の研究に取り組み、親鸞思想を近代的視野で掘り下げ展開する。



C 項 アハンガマゲー・T・アリヤラトネ 氏
1931年スリランカ・ゴール生まれ。仏教精神に基づいた農村開発活動のサルボダヤ運動を展開し、その輪を世界に広める。



第46回より、従来の仏教伝道文化賞A項・B項・C項・功労賞の区分をなくし、長年に亘って仏教伝道文化に貢献のあった方または団体に「**仏教伝道文化賞**」を贈ることと致しました。

また「**仏教伝道文化賞 沼田奨励賞**」が新設され、今後の仏教伝道を通じた文化活動の振興が大いに期待できる方または団体に同賞をお贈りすることと致しました。



第46回 文化賞 平成24年

文化賞 西來 武治 氏
1924年札幌生まれ。電話カウンセリングの草分け的存在。医事評論、教育面でも活躍する。



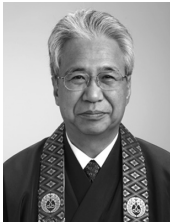
沼田奨励賞 白館 戒雲 氏
1942年西チベット生まれ。チベットの仏教や文化を日本に伝え、一方でインド、中国などとの学術交流に努める。



沼田奨励賞 玄侑 宗久 氏
1956年福島県生まれ。芥川賞作家で仏教関係の著作が多い。また東日本大震災の復興に尽力する。



第47回 文化賞 平成25年
文化賞 一般財団法人 多山報恩会 殿
1943年設立。福祉、社会事業等の発展に寄与。広島赤十字原爆病院で仏教講演会を続ける。
(写真 設立者 多山恒次郎氏)



沼田奨励賞 長倉 伯博 氏
1953年鹿児島県生まれ。終末期医療の現場で患者に寄り添い対話し、仏縁を結ぶビハラー活動を地道に広げる。



第48回 文化賞 平成26年
文化賞 渡邊 寶陽 氏
1933年東京生まれ。法華経研究、日蓮教学の分野で多大なる業績をあげ、立正大学学長として後進の育成に尽力する。



沼田奨励賞 ジェローム・デュコール 氏
1954年スイス・ジュネーブ生まれ。浄土真宗信楽寺サンガの代表で、仏典をフランス語訳し、仏教を西洋文化圏に広める。



第49回 文化賞 平成27年
文化賞 金光 寿郎 氏
1927年岡山県生まれ。NHKのディレクターとして仏教を多くの人に伝え、特に地方の隠れた仏教者を掘り起こして紹介する。



沼田奨励賞 ビハラー医療団 殿
医療と仏教の協働に努める。研修会を開き、意見交換し、終末医療に仏教思想をどう活かすかに取り組む。(写真 代表者 田代俊孝氏)



第50回 文化賞 平成28年
文化賞 石上 善應 氏
1929年北海道生まれ。インド説話及び浄土経典研究の第一人者。放送・講演・執筆等を通じて仏教とその文化を伝えた功績。



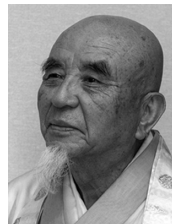
沼田奨励賞 松下 功 氏
1951年東京生まれ。東洋的情緒を持った作品や日本の各種伝統芸能や声明を融合させた仏教精神を感じさせる現代音楽を開拓。



第51回 文化賞 平成29年
文化賞 石牟礼道子 氏
1927年熊本県生まれ。『苦海浄土』を刊行、水俣病を仏教の視点で世界に提起、宗教性・芸術性の香り高い文学作品を残した功績。



沼田奨励賞 釈 徹宗 氏
1961年大阪府生まれ。宗派を超えた伝道布教活動に尽力。福祉関係のNPO法人を運営する等、多岐にわたる活動を讃えて。



第52回 文化賞 平成30年
文化賞 西村 恵信 氏
1933年滋賀県生まれ。禅の思想と文化の研究・普及に尽力。基督教との対話による国際交流にも努めた。



沼田奨励賞 みうらじゅん 氏
1958年京都生まれ。テレビや著述等で仏像を解説し仏像ブームを牽引。若い世代へ仏教精神を発信した。



第53回 文化賞 令和元年
文化賞 藤田 徹文 氏
1941年大阪生まれ。信心の社会性を提唱。伝道書を多数執筆し全国を布教する等、伝道一筋に努めた。



沼田奨励賞 森村 森鳳 氏
1956年中国長春市生まれ。親鸞
思想を研究し『教行信証』を中
国語に翻訳・出版。講演等、広
く発信。



仏教伝道協会の目的と事業

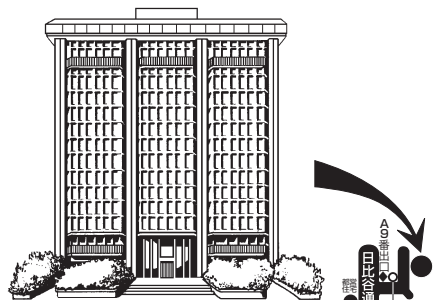
仏教伝道協会は株式会社ミットヨ創業者 沼田恵範師の発願により、昭和 40（1965）年 12 月有縁の方々のご協力により財団法人仏教伝道協会として設立され、平成 20（2008）年施行の公益法人制度改革に伴い、内閣府から認定を受け、平成 25（2013）年 4 月 1 日より新たに「公益財団法人仏教伝道協会」として歩みはじめました。

当協会では、日本文化の基本でもある慈悲と共生の仏教精神と仏教文化とその学術振興を促進し、現代的理解を弘め、グローバルな啓蒙活動を通して豊かな人間性を育て、より良い社会形成を推進し、もって人類の幸福と世界平和の実現に貢献することを目的としています。

その目的を達成するため、次の事業を掲げております。

1. 仏教典籍の現代語訳及び外国語訳による編集とその普及事業
2. 仏教精神と仏教文化とその学術振興の促進に対する助成と表彰事業
3. 仏教精神とその文化興隆に関わる啓蒙活動と支援事業
4. 施設の貸与事業
5. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

当協会では、上記の事業にそって、「仏教聖典」の現代語訳及び外国語訳とその刊行と頒布活動をはじめ、大蔵経の英訳事業、実践布教研究会など仏教関連勉強会や各種講座の開催、奨学金給付、仏教伝道文化賞などの顕彰事業や仏教精神、仏教文化の興隆活動を積極的に展開している国内外の団体等への助成支援事業、仏教音楽祭などの仏教文化普及事業、その他さまざまな事業を国内外にて展開しております。



仏教伝道センタービル
JR 田町駅三田口（西口）より徒歩 8 分
都営地下鉄三田線、都営地下鉄浅草線
三田駅 A9 番出口より徒歩 2 分



公益財団法人 仏教伝道協会

BUKKYO DENDO KYOKAI

〒 108-0014 東京都港区芝 4-3-14
TEL 03 (3455) 5851 (代) FAX 03 (3798) 2758
Email : bdk@bdk.or.jp <http://www.bdk.or.jp>